

# 知っちょる？ 統計やまぐち

## ⑧ みどり豊かな山口県

平成24年4月19日掲載

春もたけなわ、たけのこやわらびなど、山の幸が食卓にのぼる季節になりました。5月の大型連休には、新緑の山にドライブや森林浴に出かける方も多いと思います。

私たちに身近な森林ですが、山口県の森林面積は43万9千ヘクタールで、県土面積の約72%を占めています。

この広い森林を守り育てていくために、多くの人々が森に関わり、汗を流しています。なかでも、主に森林所有者で構成されている「山口県林業研究グループ連絡協議会」は、会員数1251人で全国第2位の大世帯です。

林業研究グループは、豊かな森林づくりや木材など循環利用できる資源の充実に向け、森林整備の技術向上や林業経営の改善、地域づくりや交流などの活動を行っています。

こうしたグループの活動により森林は、きれいな水を育み、県土を災害から守り、「ふるさと山口」の美しい景観をつくり、二酸化炭素の吸収源として地球温暖化防止にも役立つなど、私たちの生活に欠くことのできない多くの役割を果たしています。

さて、5月27日には、天皇、皇后両陛下をお迎えして、「全国植樹祭やまぐち2012」が山口市阿知須きらら浜で開催されます。

関連行事として「きららの森フェスタ」が植樹祭前日の26日と当日に開催されます。

林業研究グループの皆さんも、親子で体験できる木工や竹細工など盛りだくさんのイベントを用意して待っています。(子どもたちは森の遊園地やミニSLでも遊みます。

5月最後の週末です。ご家族やお知り合いをお誘いの上、きらら浜にお越しください。

